LiPro評価基準（中学生向けのオンライン塾）｜2025年4月調査

LiProでは中学生向けのオンライン塾のランキング作成において、評価基準を作成いたしました。

当サイトは広告収入を元に運営されています。ユーザーの皆様に公正、かつ、正確な情報をお届けするために、広告にあたる商品・サービスには「PR」や「スポンサードリンク」などの記載をすることを遵守しています。「選び方」で紹介している情報は、必ずしも個々の商品の安全性・有効性を示しているわけではありません。商品を選ぶときの参考情報としてご利用ください。

調査概要

調査方法	調査した中学生向けのオンライン塾を確認
調査実施期間	2025年4月16日

1. 評価基準の設定の流れ

評価基準の設定の流れは以下の通りです。

1. 各中学生向けのオンライン塾の公式サイトを確認
2. 評価基準の項目について調査
3. 評価基準をもとに評価をする

1-1. 各中学生向けのオンライン塾の公式サイトを確認

調査する中学生向けのオンライン塾の公式サイトにて、サービスの内容等を確認しました。

1-2. 評価基準の項目について調査

評価基準（「料金」「カリキュラム」「サポート内容（子供向け）」「サポート内容（保護者向け）」「合格実績」）の5項目に関して、中学生向けのオンライン塾の公式サイトの情報を調査しました。

1-3. 評価基準をもとに評価をする

調査した情報を確認して、評価基準をもとに評価をしました。

2. 評価基準

「料金」「カリキュラム」「サポート内容（子供向け）」「サポート内容（保護者向け）」「合格実績」の5項目において、1～5までの評価基準を設定いたしました。

項目	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5
料金（月4回授業で計算）	要問合せ	20,000円以上	15,000円	10,000円	5,000円以内
カリキュラム	対応科目数に関する記載が公式サイトになく、何を学べるのかわからない	授業内容がテキストの使用のみ	5科目対応だが、映像授業主体で講師とのやりとりが少ない	5科目対応で講師とのやりとりは多いが、不登校向け、高校受験向け、ハイレベルなコースは用意されていない	5科目対応で講師とのやりとりが多い。不登校向け、高校受験向け、ハイレベルなど学習目的に合ったカリキュラムが用意されている
サポート内容（子供向け）	授業は一方的で、子供がついていけているかどうかの確認が行われない	授業中に子供が理解できるよう指導するが、授業外でのサポートやフォローがほとんどない	子供が勉強に取り組む環境は整っているが、やる気が落ちたときのフォローが少ない	サポートは時間制限がある（メンタルケアやモチベーション維持のための工夫もあるが、全体的なバランスでは最上級のレベルほどではない）	24時間いつでもサポートあり・授業外のサポートあり（例：宿題の確認やモチベーション向上のためのアクティビティがある）

サポート内容（保護者向け）	授業内容も一方的で、親との連絡もほぼない	親とのコミュニケーションも少なく、サポートが不十分	親への連絡やサポートは授業後に簡単な報告がある程度	親との連絡や進捗確認も十分に行われる	学習の進捗状況は定期的に確認され、親に対しても進捗報告が行われる
合格実績	合格実績に関する情報がほとんどない、または公開していない。合格者の声やエピソードも見られず、判断材料が乏しい。	合格実績の掲載が少なく、内容も曖昧。具体的な学校名や人数が記されておらず、受講者の声に頼ったPRが中心。	合格実績はあるが、特定の学校への偏りや記載が抽象的。中堅校中心で、難関校の合格事例は少ない。実績が数年単位でまとめられている場合も。	地域の公立上位校や私立中堅～上位校に多くの合格者を輩出。合格校の実例はあるが、詳細な合格数や年度比較の情報はやや少ない	難関校・上位校への合格者が多数。合格者の進学実績を具体的に公開しており、年度ごとの合格実績や人数も透明に示されている。口コミ・評判も信頼性が高い。

2-1. 料金

授業回数が中学生向けのオンライン塾ごとに異なるため、月4回の授業で掲載しました。

2-2. カリキュラム

受講したい科目があるかどうかが教育サービスを選ぶ判断基準になるため、対応科目の範囲と学習目的に合ったカリキュラムの有無を評価の基準としました。

2-3. サポート内容（子供向け）

授業だけでなく、授業外の関わりも中学生向けのオンライン塾には必要です。子供のモチベーション維持・向上のために中学生向けのオンライン塾のサポート内容の充実さを評価の基準としました。

2-4. サポート内容（保護者向け）

子供の授業の様子や成績などを保護者の方が知ることで安心と中学生向けのオンライン塾への信頼が生まれます。そのため、保護者へのサポート内容の充実さを評価の基準としました。

2-5. 合格実績

難関校・上位校への合格実績があることで、カリキュラムやサポート体制への信頼性が生まれます。そのため、合格実績が記載されているかどうかを評価の基準としました。

3. 調査した中学生向けのオンライン塾

今回調査したのは下記の中学生向けのオンライン塾です。

中学生向けのオンライン塾	公式サイト
トライのオンライン個別指導塾	公式サイト
進研ゼミ中学講座	公式サイト
東大先生	公式サイト
そら塾	公式サイト
坪田塾	公式サイト
東進オンライン学校 中学部	公式サイト
スマイルゼミ	公式サイト
スタディサプリ	公式サイト
キミノスクール	公式サイト
Axisのオンライン家庭教師	公式サイト
WEB個（個別指導塾TESTEA）	公式サイト
明光義塾	公式サイト
スクールIEオンライン	公式サイト